

# 事業報告

## <研修名>

令和元年度 大分県社会教育主事専門研修会

## <開催日時>

令和元年7月12日(金) 10:15~15:45

## <会場>

県立図書館 第2・3研修室

## <参加人数>

21名(県:5名、市町村:16名)

## <研修趣旨>

県下の生涯学習・社会教育のより一層の振興を目指し、事業遂行の中核的役割を果たす県及び市町村の社会教育主事を対象に、専門的教育職員としての知識・技能の向上を図る。

## <研修内容>

### 【研修1】▼講演 「令和時代の社会教育主事に求められる役割」

講師：鹿児島大学教育学部 准教授 久保田 治助 氏

社会教育主事を取り巻く国の情勢の変遷についてわかりやすく説明がありました。また、地域づくりについて、講師の取組事例の紹介をとおして参加者に示してくれました。参加者は、日頃あまり知る機会のない鹿児島の実例について、興味深く聞く様子が見られました。

### 【研修2】▼演習 「社会教育事業を進める上で必要となる社会教育援助技術」

実演者：鹿児島大学教育学部 准教授 久保田 治助 氏  
助言者：日出町社会福祉協議会 次長兼総務管理課長 堀 さおり 氏

日出町社会福祉協議会の協力を得て、福祉分野における「支え合いマップ」の作成をとおして、福祉分野と社会教育分野における「地域」の捉え方の差異や地域資源・地域人材の分布の様子などについて、地図上に視覚的に示していく演習に取り組みました。「社会教育と福祉の連携」について、言葉だけでなく視覚的に捉えることで、参加者がその必要性に気づくことができました。

## <当日の様子(写真)>

### 【開会行事】開会挨拶

県立図書館 館長 塩川 也寸志



### 【研修1】「令和時代の社会教育主事に求められる役割」

鹿児島大学教育学部 准教授 久保田 治助 氏



### 【研修2】▼演習「社会教育事業を進める上で必要となる社会教育援助技術」

鹿児島県鹿児島大学教育学部 准教授 久保田 治助 氏 / 日出町社会福祉協議会 次長兼総務管理課長 堀 さおり 氏



## <参加者感想>

- 部局を超えた連携という言葉の意味を理解できた。
- 今年度社会教育分野に配属となり、以前福祉分野に配属であったため、社協とのパイプも、自分の中には持ち合わせがあると感じている。今日の研修を含め、自らの業務で活かしていけたらな、と思った。
- 「令和時代の社会教育主事に求められる役割」は、公民館関係者全員に学んでほしい講演内容だと思った。本当によい勉強をさせていただいた。
- 制度や国の組織が変わり、これまで以上に社会教育に求められる役割が大きくなったように感じられた。行政だけで課題を解決しようとするのではなく、いろいろな組織・団体と協力しながら、また社教主事としてそれぞれよいところを見つけ、くっついていきながら、おもしろいアイデアを生み出して解決に結びつけていければと思う。
- 社会福祉との連携について、庁内で検討してみようと思う。
- ワークショップの新しい手法が学べた。